

世界に誇れる未来の福島を目指して！

～健康食の宿～新しいライフスタイルの提案拠点へ！

「ふくしまハウス・マクロビアン」の挑戦

クラウドファンディングのお願い



わたしたちの活動を通じて ふくしまの自然と食の大切さを 実感してほしい！

私は福島県いわき市小川町の山中の小さな集落で38年間、食による健康法を学んで体験できる癒しの場「マクロビアン」を主宰してきた橋本宙八（チュウヤ）です。

私は、結婚後この地に移り住み、原野を開墾し、手造りで家を建て、恵まれた環境の中で自然生活を楽しませてもらいました。

お陰で5人の子供を夫婦二人で自然出産し、医者要らず、薬いらずの健康に育てることができました。そんな生活の中、食による健康づくりを学んで体験する集いや、ワークショップ、セミナーなどを企画、開催するようになりました。

それは、自然栽培の穀物や野菜を使った食品添加物の無い安全、安心な食事を食べることで健康を取り戻す。そのための正しい食材の選択、正しい料理法、正しい食べ方を学び体験するというものです。

今回はこれまでの私たちの経験を活かし、現在復興中のマクロビアンを再起動し、世界中からこの地に来てもらい、日本の自然の素晴らしさ、食で健康を取り戻すことの大切さをこの福島で体感してもらうことにチャレンジしていきたいと思います。



ふくしまハウス・マクロビアンの今

マクロビアンの修繕・整備にご支援下さい！



震災後 度々夫婦で通って環境整備をしていた建物は、いつでも再活動できるように維持、管理されて来ました。

しかし、7年が過ぎた今、木造の建物には修繕と新しいペンキの塗り替えが必要です。

震災前に新しく設置したばかりの浄化槽も検査、整備をやり直す必要があります。しばらく使っていなかった井戸や風呂のボイラーなどもメンテナンスが必要です。

また、宿泊を再開するためには、食卓、食器棚、寝具なども再度購入する必要があります。3,600坪の敷地には、多くの雑木が成長し過ぎて整備も必要です。

以上、再開のためには、施設の修繕や設備の購入にどうしても資金が必要です。その資金を皆さんに是非ご支援いただきたいのです。

マクロビアンが提供する サービス内容

大自然の環境の中で食べ、学び、体感する素晴らしさ！

『心も体も自然と食で癒される』それがマクロビアンの考え方。

来訪されたお客様に、心から爽やかになっていただける。

そんな宿泊滞在型のプログラムです。

マクロビアンは、多くの人に来てもらえる健康食の宿として復興します。日本人、外国人を問わず、ふくしまの未来を探る拠点にしたいと願っています。健康問題で悩み、食による健康法に興味のある人向けのワークショップや、多彩な支援者に未来志向のライフスタイルも提案してもらいます。施設の運営を担うワーキングホリデーやボランティアも募集します。

大切なのは自然に育てられた『食』にあります

●なぜ「食による健康づくり」なのか？

食物は命のモトです。

私たちの命は、言うまでもなく私たちが日々食べる食べ物によって造られています。健康は、どれだけ身体に負担のない、安全、安心な自然な食物を食べるかに大きく左右されます。

残念ながらこの大切な食物が今、農薬や化学肥料、食品添加物などの化学物質によって不自然に栽培され、加工されています。

麦や大豆、トウモロコシなどの主要な食べ物が、＜遺伝子組み換え技術＞によって人工的に操作され、売られるようになってしまいました。

こうした社会環境の中では、健康を取り戻すためには、身体に良い食物を選択し、正しく料理し、正しく食べる知恵を持つことが大切です。安全、安心な食べ物によって血液をきれいにし、胃腸や身体の汚れを落とすことで「免疫力を高める」ことが、最も大切なことなのです。

「ふくしまハウス・マクロビアン」は、まずは「食による健康づくり」を自分の体で実感してもらうための癒しの宿でありたいと願っています。

自然農法の野菜を使い、食品添加物が使用されていない安全、安心な食材を使った食事を提供致します。そんな食事を食べながら、個々の生き方、福島や日本の新しいあり方について語り合い、学ぶ。そんな場にしたいと思っています。



これまでの私の活動を ふくしまの為にマクロビアンへ

わたしはこれまで、生命や食が持つ素晴らしい経験をいくつも重ねてきました。そんな出来事を、この「ふくしまハウス・マクロビアン」に刻んでいきたいと望んでいます。

震災で受けた放射能汚染は、多くの人々の心に傷跡を残しました。その傷が癒えない今も、その原因が改善された兆しはなかなか見えて来ません。決して忘れてはいけないこの大惨事の記憶を、この地から人々に伝え、残していかなければいけないと思っています。この素晴らしい自然を、次代に生きる人たちが安心して暮らしていける場所にするためにも。

みんなの笑顔のために！

縁あって93年と94年の各一ヶ月間、9人のチェルノブイリの子どもたちを我が家で保養滞在してもらった機会を得ました。青白かった子供たちの顔が、わずか一ヶ月の間に、自然な食事と環境によってみるみる元気になった姿が忘れられません。

マクロビアンハウス修繕・整備基本計画

皆様にご支援をお願いしたい項目および金額は、次の通りです。

＜基本計画＞

- 2019年4月中に施設内外の整備・補強を済ませる
- 2019年5月「ふくしまハウス＜マクロビアン＞」PRを開始する
- 2019年8月1日 第一回「食で元気になろう！マクロビアン復興記念の集い」を実施する
- 2019年10月6日 第一回「橋本宙八の健康講座」を実施する

調達目標金額 100万円

＜項目別内訳＞

①敷地内の宿泊・学習施設、環境の整備、修復・修繕。 ○建物の修繕 ○施設の外壁、屋根の修繕 ○浄化槽、井戸、風呂、ボイラーの整備 ○再生エネルギー施設の導入 ○お客宿泊関連設備「食器棚、食卓、調理器具、寝具」等の整備 ○通信、事務機器「電話、FAX、パソコン、ルーター」等 ②自然農法設備の整備 ○農具、作業車等

クラウドファンディングのお礼

- | | | |
|----------|----------|--|
| (1) 支援金額 | 3 千円 | <マクロビアン四季の絵葉書（4枚組）> |
| (2) 支援金額 | 5 千円 | <1 名様現地でのランチ券> |
| (3) 支援金額 | 1 万円 | <2 名様現地でのランチ券> or <自然やさいセット 3 K g ~ 5 k g> |
| (4) 支援金額 | 3 万円 | <宿泊券（一泊二食付き）+ 自然やさい> |
| (5) 支援金額 | 1 0 万円以上 | <ご家族、グループの 3 名様宿泊券一泊二食付き + 自然やさい> |

マクロビアンは、自然農法を推進し、自然やさいを広める活動を展開する「日本自然やさい協会」と連携し、ふくしま復興を応援しています。このプランの野菜は、その協会からの提供となります。

日本自然やさい協会 <https://shizenyasai.org/>



マクロビアン四季の絵葉書（4枚組）



現地でのランチ券【1名様】



自然やさいセット



現地でのランチ券【2名様】

アン



宿泊券【1名様】（一泊二食付き）+ 自然やさい



ご家族、グループの4名様宿泊券一泊二食付き + 自然やさい

＜ご支援の特典について＞

1万円以上ご支援頂いた方は2019年8月1日 第一回「食で元気になろう！マクロビアン復興記念の集い」に無料ご招待！！

3万円以上ご支援頂いた方は2019年10月6日 第一回「橋本宙八の健康講座」に無料ご招待！！

また10万以上のご支援者には「マクロビアン特別会員」として毎年マクロビアンで行われる口座やイベントに無料でご招待いたします！

（交通費は各自負担となります）

ふくしまを応援しよう！

＜ふくしま県民の方を対象にご提供する限定プランです＞

マクロビアン 復興応援基金



●ふくしま県民のために癒しの宿を提供します。

ふくしま県内には、健康問題で悩む人たちが大勢います。そうした人たちをマクロビアンに無料で招待し、食事や宿泊をしていただく＜福島復興応援プラン＞です。その人たちを対象に、随時、食の健康相談やワークショップなども行いたいと思います。

支援金額

3,000円～金額指定なし

ふくしまハウス・マクロビアンの復興を、 こんな人たちが応援しています！



永井巳なか
(マクロビオティック
／和の会)



菊池栄
(出産育児環境研究会代
表／立教大学専任講師)



細見浩樹
(庭師／細見造園)



藤浪白林
(琵琶演奏者／東京)



橋ヶ谷佳正
(教育学／岡山大学
名誉教授)



中野民夫
(リベラルアーツ研究教育／
東京工業大学教授)



青沼かづま
(俳優／演出家／オーガ
ニックシアター)



海老名悠希
YKストレスケアオフィ
ス代表 臨床心理士



城田幸子
(日英通訳／東京)



永野ゆきの
(脚本／演出家／オーガ
ニックシアター)



早川俊二
(画家／パリ在住)



森孝之
(エコロジスト／
アイトワ代表)



大塚
(自然エネルギー
／建築家)



荻田秀行
(自然農法／荻田
ファーム)



井上仁
(福島復興応援ネット
ワーク／東大元教授)



澤田朋子
(心理療法士／)



岡田昭彦
(自由人地球温暖化対応
／兵庫県)

様々な分野の専門家が、マクロビアンで、新しい時代のライフスタイルを提案する講座やワークショップなどを随時企画、開催致します。

マクロビアンは世界中の、自然農法、食育専門家、心理療法士、医師、ジャーナリスト、マクロビオティック、演劇家、音楽家、庭師、カメラマン、自然エネルギー、作家、などの支持を受けています。



マクロビアンと海外支援者たち

自己紹介

橋本 宙八（はしもと ちゅうや）

1947年新潟県に生まれる。大学卒業後26歳の時、寺での断食経験を機にマクロビオティックに出会う。その哲学と実践の深淵さに惹かれ、以来、ライフワークとして研究、実践45年。結婚後、福島県いわき市の山奥に居を構え、自然生活をしながら二男、三女を夫婦二人で自然出産し、医者要らず薬要らずの完全穀菜食で育てる。その後の教育も独自の道を選択。5人の子どもをそれぞれの個性に合わせて、セルフラーニングやオーストラリアのシュタイナー系学校などへ留学させて育てる。

食の研究では35年間、体質改善の基本である「半断食」による心身改善法を研究、実践し、独自のプログラムを創作。以来、日本、オーストラリア、アイルランド、スペイン等で長年開催。これまでに十数カ国8800人以上が参加。マクロビオティックの真髄を体感、体得できるセミナーと国内外で好評。

1993年、社会活動の一環として参加したベラルーシの国際会議で講演。それが縁となって、チェルノブイリで被爆した児童9人を二年間にわたり各一ヶ月間自宅に保養滞在させる。これを契機に、国連公認のNPO～子どもと地球の子どものために～「2050（ニセンゴジュウ）」の創立に参画。副理事長として、国内外で環境、人口、貧困問題などの啓発運動、途上国女子の奨学金支援、シルクロードの植林などで活躍。

3. 11の東北大震災の原発事故で自宅が放射能汚染され止む無く京都に避難。今年で7年目を迎え現在に至る。移住後は、各地の施設を借りて半断食セミナーを開催。日々、講演、講座、健康指導、執筆等で、食による健康の自己管理のためにマクロビオティック運動の普及に尽力する。

「マクロビアン」「国際半断食研究所」主宰。KIJ(久司研究所)、日本CI協会、正食協会等、各マクロビオティック団体の講師を歴任。「日本自然やさい協会」理事、「徐州老子食研究会」顧問。

橋本ちあき（はしもと ちあき）

愛媛県生まれ。半断食セミナーでは長年料理を担当。2男を一人で、3女を夫と二人だけで自力出産し、マクロビオティックと自由教育で育てる。田舎暮らし・自然出産・自然育児・オルターナティブ教育・マクロビオティックなどを実践する自然人。「全ての知恵は普通の人普通の生活の中で生きてこそ」「試行錯誤が知恵になる」をモットーに、リアリティを大切にする。次世代の心・体・魂のために、食や教育にまつわる相談・講演・執筆活動も行っている。

著書『自然に産みたい』『自然に生み、自然に育てる』

〒622-0224 京都府船井郡京丹波町高岡富喜13-1

HP:<http://www.macrobian.net>

mail:chuya@macrobian.net



読んでいただき
ありがとうございます

皆さまの心温かいご支援どうぞよろしくお願いいたします！

 フラフレ ぽんぽん
お買物で地域と産業を元気にするサイト

こちらのQRコードからク
ラウドファンディングの
ページに移ります
<http://bit.ly/2NBWD02>

